

# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

加斗小学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1)「家庭・地域・学校協議会」の構成

学校（3） PTA（2） 保育園（1）  
公民館（1） 児童委員（1） 民生委員（1）  
元公民館長（1） 計10名

#### 地域コーディネーター（6名）

公民館長（1） 元公民館長（1）  
PTA会長（1） 稲作り協力者（1）  
夢作りコミュニティー会長（1）  
地域探検協力者（1）

### (2)協議会の内容

開催回数 2回

#### 開催日程

第1回 6月14日（金）19:00～20:00

第2回 2月 1日（土）13:00～14:00

#### 協議内容

第1回 ・学校経営方針

・児童の様子と主な行事 他

第2回 ・学校評価について

・児童の様子について 他

### (3)協議会における成果と課題

- ・第1回は、スクールプランに基づいて学校経営方針について理解をしてもらうことができた。校区内の危険箇所、グラウンド除草、挨拶の様子など、具体的なことまで話し合うことができた。
- ・第2回は、学習発表会の後に実施したので、1年間の学習内容や児童の様子の実態を見ていただくことができた。プール開放、遠泳の実施など、学校の課題についても踏み込んで話し合うことができた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1)活動のねらい

様々な体験活動を通して、加斗地区や小浜市の良さや課題について気づき、地域を活性化させるために自分達にできることを考え実践しようとする意欲を育てる。そして、地域を愛し誇りをもつ児童を育成する。

### (2)活動の実際

#### ① 米作り体験と海・山の活性化を考える取り組み（5年生）

今年度も昨年同様、体験用の田の提供者でもある地域コーディネーターの指導を受けながら米作りや観察に取り組んだ。稲刈り・乾燥の後に袋に詰めて地区文化祭で販売活動を行った。また、加斗から小浜を元気にしようと考え、海・山を生かした活動に挑戦した。鯉川シーサイドパークでシーカヤックやビーチバレーボールを体験した。飯盛山の登山道の整備についても話し合い、実行した。敦賀駅の新幹線工事現場の見学も行った。小浜にたくさんの人に来てもらうために、新幹線開通、高速道路、JR等があり交通の要所であることを活かし、加斗地区の名所をPRしていこうと考えた。



## ②(地域の良さについて食を通して広める取り組み 6年)

6年生は【蒼島】(暖地性植物群落：国指定天然記念物)の学習に取り組んだ。事前に暖地性植物や島に伝わる伝説や民話などについて学習し、実際に観察することによって理解を深めた。地域コーディネーターが事前に現地の下調べをしてくれてくれたことで、安全に見学することができた。また、岡津製塩遺跡で塩作り体験をした。昔の人々の苦労や生活の知恵について体感すると共に、加斗地区に素晴らしい遺跡があることに誇りを感じた。

これらの体験活動をもとに、小浜市の良さを発信する方法として、おみやげ作りをしたり、スペシャル弁当を考えて販売したりした。地域の方々にも加斗地区の良さについて再認識してもらうことができた。



## (3)地域コーディネーターの活動概要

夏野菜や冬野菜を育てるときや田植え・稲刈りの際に、指導や作業協力をしてもらった。低学年の地域体験でネイチャーゲームを指導してもらった。また、蒼島、岡津製塩遺跡、飯盛山、加斗駅についての学習では事前に安全確認や作業協力をしてもらった。

## (4)特に工夫した事項

- ・体験活動を生かして、より詳しく調べたいことを児童に考えさせ、地域コーディネーターの方からアドバイスをもらいながら進めるようにしたこと。
- ・地域コーディネーター等から教えてもらったことや、自分たちが体験の中で気づいたことなどを、リーフレットなどの形でまとめて、他への発信ができるようにしたこと。

## (5)成果と課題

成果としては、5・6年生が主体となりながら、1～4年生も地域の課題や良さについて考えた学習に取り組めたことである。どの学年も地域の方にお世話になって学習を進め、2月1日の発表会では学習したことを地域の方々に発信することができた。地域の方々の感想の中には、「子ども達がこんなに頑張っている。自分達も頑張りたい。」という意見があった。地域と学校が一体となって、加斗地区の活性化について考えることができた。